

最近のブラジル情勢 及び 民間投資拡大の可能性について

2024年3月13日
在ブラジル日本国大使館

ルーラ政権の取組みと日伯関係まとめ

1. ルーラ政権1年目の政権運営と成果

- ✓ 国民の支持が二分化した状況からスタート。情勢は沈静化するも、二分化は継続。
- ✓ 議会の支持基盤が弱い中、閣僚人事(38名の閣僚、12政党)等を通じ、巧みに中道・中道右派勢力の取り込みを進め、税制改革等の主要法案を成立。貧困・飢餓対策等も着実に進展。
- ✓ 経済は堅調に推移、GDP成長率約3%弱、インフレ率4.6%、懸念されたバラマキは見られず経済対策への評価で格付けは引上げ。
- ✓ コモディティ(農産物、鉱物)の輸出好調で、2023年は史上最大の貿易黒字(988憶ドル)を計上。
- ✓ 伯の伝統路線に則った積極外交(24カ国訪問、200回以上の国家元首との接触、大きな影響力)。
- ✓ 環境政策の進展(マリーナ・シルバ環境大臣の任命、アマゾン森林伐採面積の昨年比5割減)。

2. 2024年ルーラ政権の課題と注目点

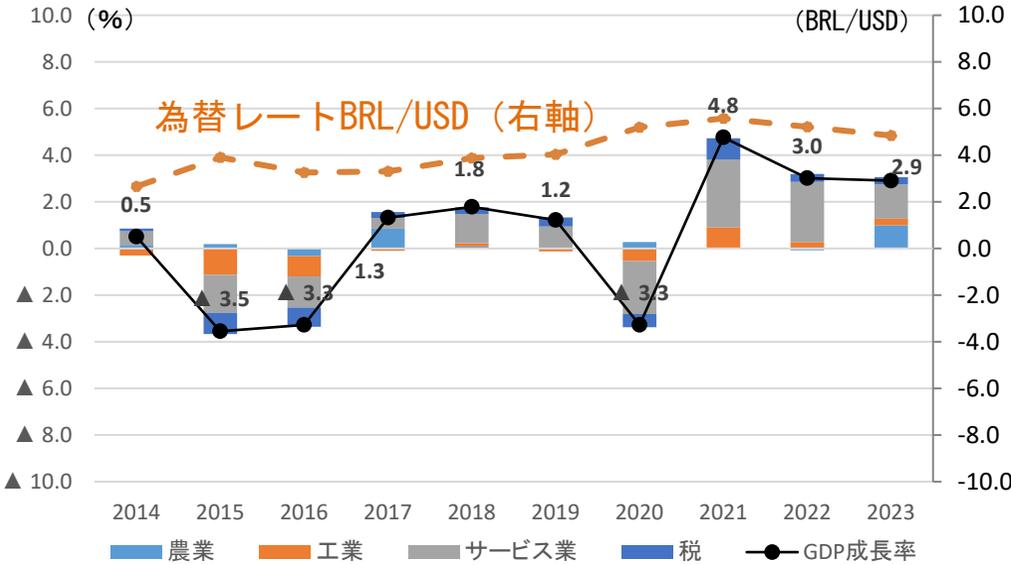
- ✓ 10月の統一地方選挙は各党が支持獲得に動く「内政の年」(政権は貧困対策・格差是正施策を継続)。
- ✓ 経済の安定的成長(成長率2%強、インフレ3%±1.5%)、税制改革、PBの達成等の政策課題。
- ✓ 新工業化を通じたデジタル・グローバルエコノミーへの投資。環境と開発の両立に向けた法制度。
- ✓ 伯議長下のG20の成功(G20優先議題として①貧困、②エネルギー転換と持続可能な開発、③グローバル・ガバナンス改革)。2025年伯開催のCOP30に向け、気候変動分野におけるイニシアティブ。
- ✓ メルコスール等を通じた中南米地域連携強化。国際機関への積極的な関与。

3. 日伯関係の現状と見通し

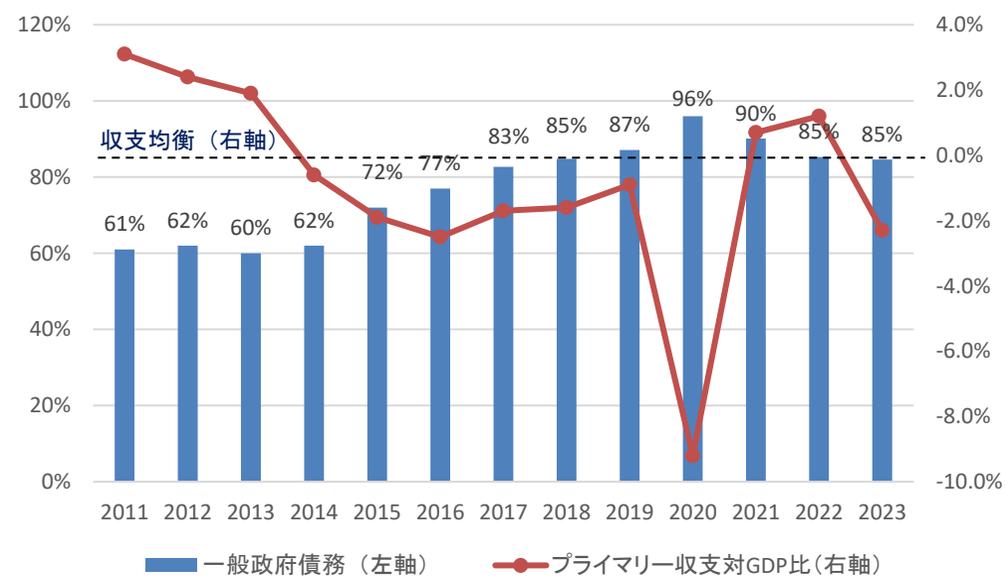
- ✓ 2023年は、首脳・外相レベルの交流(G7広島サミット等)により、具体的成果(短期査免等)。
- ✓ 今後2年(G20、COP30)は、「戦略的グローバル・パートナーシップの更なる深化に向けた「機会の窓」。
- ✓ 「中南米外交イニシアティブ」を踏まえ、2025年の日伯関係130周年更なる関係強化(GX、DX、科学技術イノベーション等、人的交流の活発化等)。

主要経済指標の推移

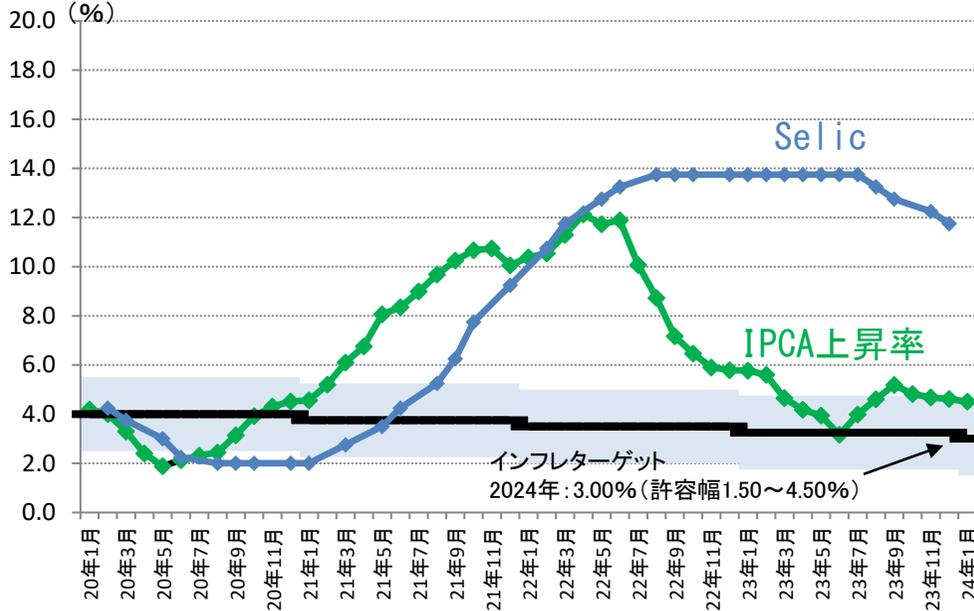
実質GDP成長率と為替レート(対USD)の推移



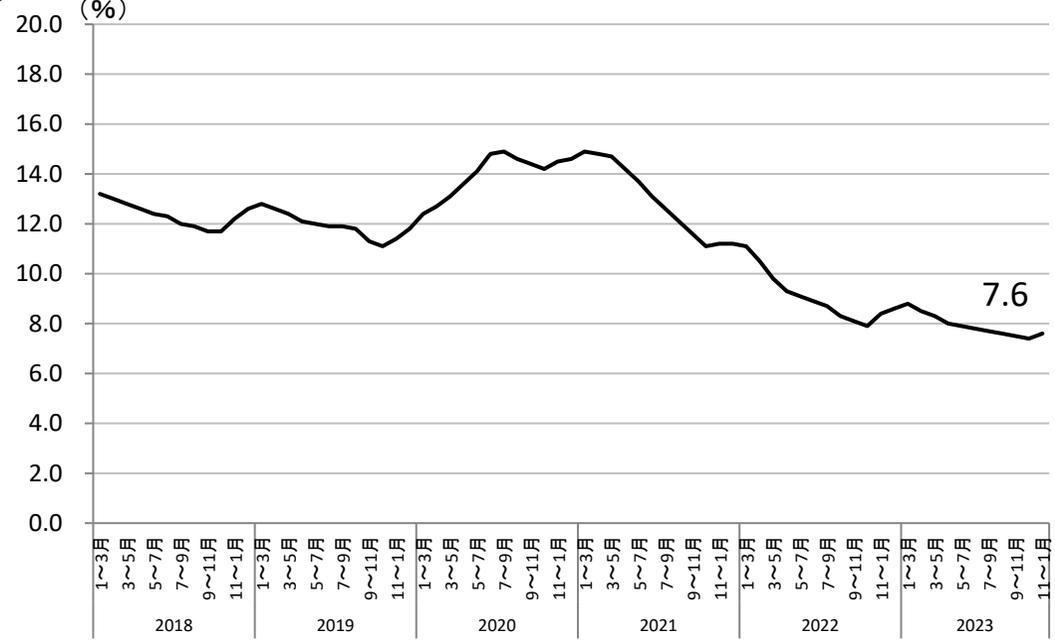
一般政府債務とプライマリー収支の推移(対GDP)



IPCA(拡大消費者物価指数)上昇率とSelic(政策金利)の推移



失業率の推移(3ヶ月移動平均)



ブラジルの貿易相手国

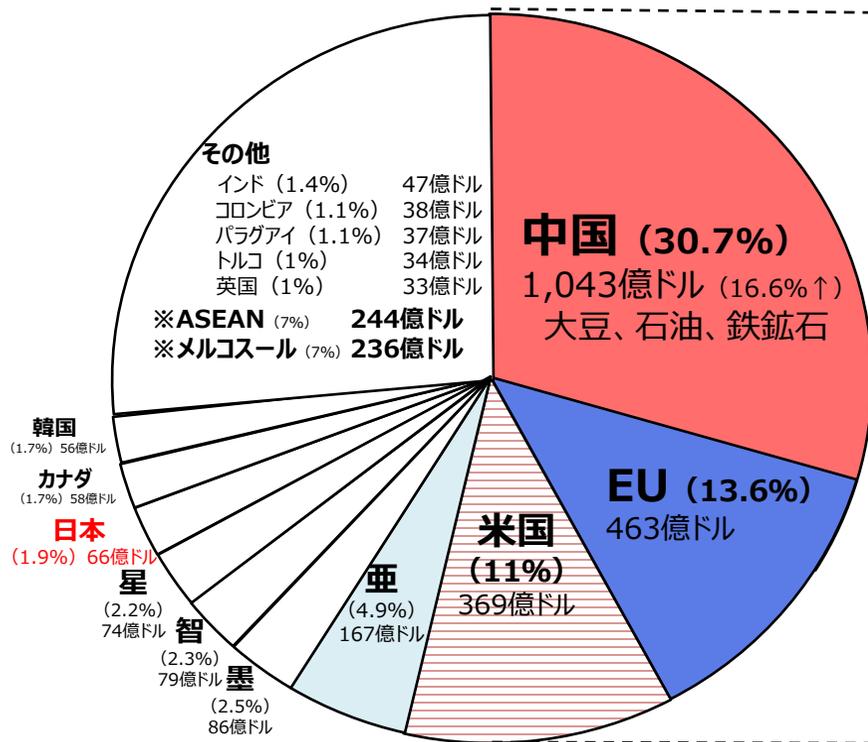
- 2023年の輸出額は、過去最高となる**3,397億ドル**（対前年比1.7%増）。貿易黒字も過去最高の**988億ドル**
- 中国は輸出先として2009年以降15年連続一位。単一国への1000億ドル超えは初めて。

輸出額：3,397億米ドル

(前年比1.7%↑)

※輸出の約半分は農畜産品。

※主な増加品目：肉類、トウモロコシ、大豆、鉱石、砂糖、飼料等

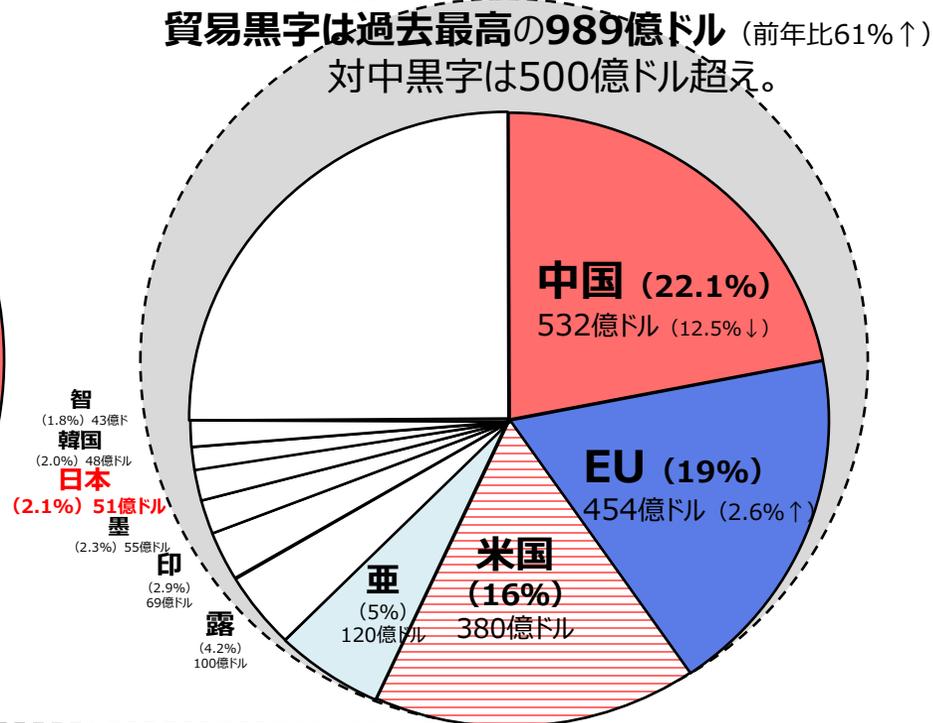


輸入額：2,408億米ドル

(前年比11.7%↓)

※主な減少品目：農産品（小麦、ライ麦、トウモロコシ等）

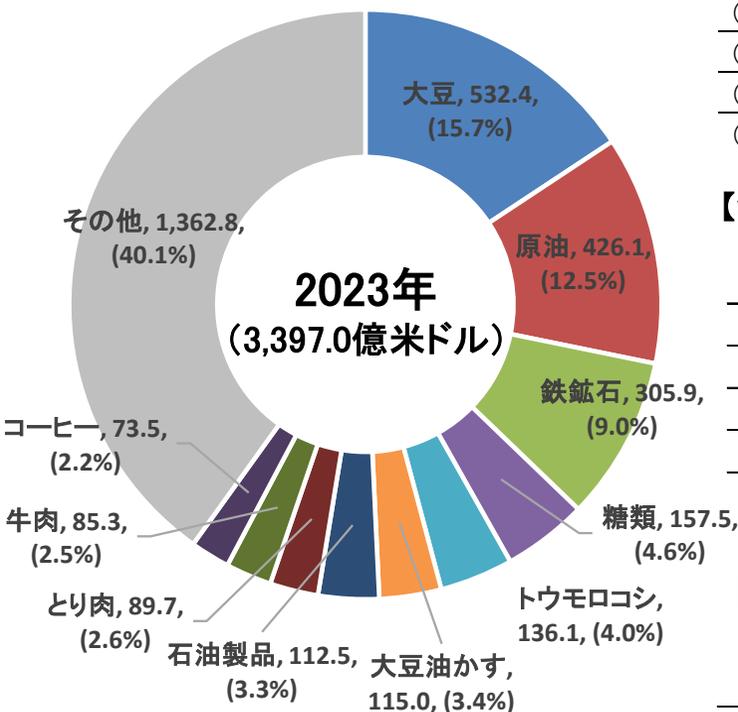
鉱物資源（石炭、石油、天然ガス）、肥料等



ブラジルの主要輸出品目

● 輸出品は食糧・鉱物等の一次産品を中心とした構成。

主要輸出品目



* 数値は億米ドル、括弧内は構成比

【大豆】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	305.9	100.0
①	中国	196.8	64.3
②	マレーシア	17.3	5.7
③	日本	12.3	4.0
④	バーレーン	11.0	3.6
⑤	オマーン	8.5	2.8

【原油】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	157.5	100.0
①	中国	19.1	12.1
②	インド	12.2	7.8
③	アルジェリア	9.3	5.9
④	インドネシア	8.2	5.2
⑤	サウジアラビア	8.1	5.1

【鉄鉱石】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	532.4	100.0
①	中国	389.2	73.1
②	アルゼンチン	20.3	3.8
③	スペイン	14.6	2.7
④	タイ	13.9	2.6
⑤	トルコ	9.8	1.8

【糖類】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	426.1	100.0
①	中国	197.8	46.4
②	米国	46.8	11.0
③	オランダ	35.4	8.3
④	スペイン	31.9	7.5
⑤	チリ	31.1	7.3

【トウモロコシ】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	136.1	100.0
①	中国	36.5	26.8
②	日本	14.7	10.8
③	ベトナム	11.3	8.3
④	韓国	8.7	6.4
⑤	イラン	8.3	6.1

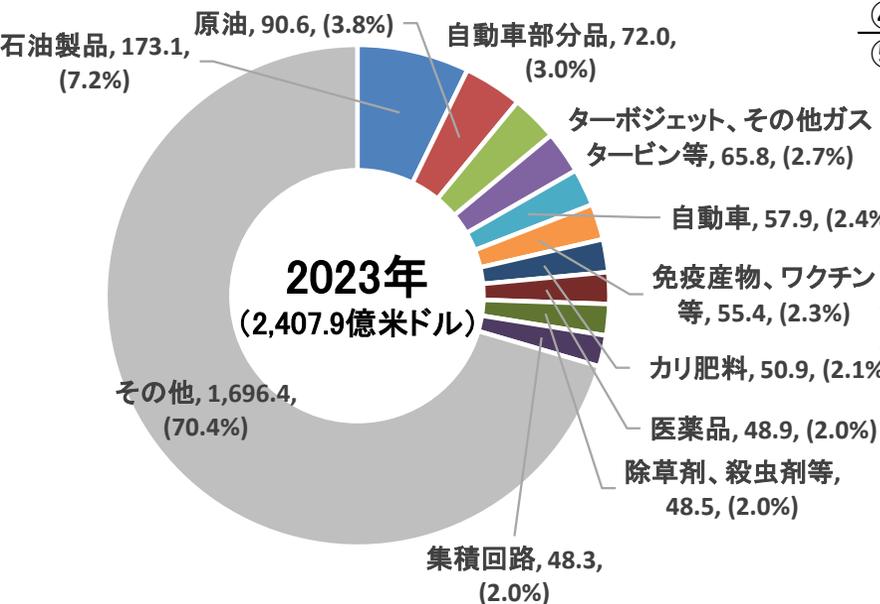
【大豆油かす】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	115.0	100.0
①	インドネシア	19.2	16.7
②	タイ	15.5	13.5
③	ドイツ	9.8	8.5
④	ポーランド	9.0	7.8
⑤	オランダ	8.8	7.7

ブラジルの主要輸入品目

● 輸出に対して輸入は品目・調達先ともに多様。

主要輸入品目



【石油製品】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	173.1	100.0
①	ロシア	52.6	30.4
②	米国	48.0	27.7
③	オランダ	13.8	8.0
④	UAE	9.9	5.7
⑤	スペイン	9.4	5.4

【原油】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	90.6	100.0
①	サウジアラビア	19.7	21.8
②	米国	16.0	17.7
③	アルジェリア	13.7	15.1
④	ガイアナ	9.8	10.9
⑤	アルゼンチン	8.5	9.4

【自動車部分品】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	72.0	100.0
①	中国	9.9	13.7
②	日本	9.4	13.0
③	ドイツ	7.0	9.7
④	メキシコ	6.9	9.6
⑤	米国	5.6	7.8

【ターボジェット等】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	65.8	100.0
①	米国	48.6	73.8
②	フランス	9.2	14.0
③	カナダ	1.4	2.1
④	ドイツ	1.3	2.0
⑤	トルコ	1.3	1.9

【自動車】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	57.9	100.0
①	アルゼンチン	22.4	38.6
②	中国	10.9	18.8
③	メキシコ	6.8	11.7
④	ドイツ	5.0	8.7
⑤	スロバキア	2.7	4.6

【ワクチン等】

	全体	億米ドル	構成比 (%)
	全体	55.4	100.0
①	ベルギー	11.5	19.8
②	ドイツ	9.0	15.5
③	スイス	6.8	11.8
④	アイルランド	5.6	9.6
⑤	米国	5.2	9.0

* 数値は億米ドル、括弧内は構成比

新産業政策(NIB)の概要

NIB (Nova Indústria Brasil) : 2024年1月22日、産業開発国家評議会 (CNDI) (議長 : アルキミン副大統領兼MDIC大臣) が取りまとめ。

今後10年間 (2033年まで) の政策目標と2026年までのアクションプラン。

戦略的投資分野の競争力向上、国際貿易におけるプレゼンス向上を掲げるとともに、知財・技術に立脚しつつ、投資を活用した国内生産の強化。

1. 手段

- ①ファイナンス関連措置 ex. 排出権市場の導入、タクソノミー、融資、中小企業支援etc
- ②ビジネス環境関連措置 ex. 特許出願の審査期間短縮、投資ガイドライン確立、労働者の能力開発etc
- ③公共調達関連措置 ex. 国内技術開発や機器の内製化促進etc

2. 6つの柱となる分野

- ①農業サプライチェーンのデジタル化 (家族農業の機械化)
- ②強靱なヘルス経済産業 (医薬品の国産化)
- ③都市インフラ (交通・移動インフラの改善)
- ④産業のデジタル・トランスフォーメーション (デジタル化と国内生産の拡大)
- ⑤バイオエコノミー、脱炭素、エネルギー移行 (CO2の削減とバイオ燃料の拡大)
- ⑥防衛 (重要技術の国内生産確保)

NIBの6つのミッション

ミッション	2033年目標	2024-26年の主なアクション		
		優先的な金融支援	ビジネス環境整備	公共調達
デジタルな農業 産業チェーン	<ul style="list-style-type: none"> 農業GDPに占める農産業部門のシェア拡大(23%→50%) 家族農業施設の機械化率拡大(18%→70%)し、その95%に国産の機械を整備 	(助成) 肥料及び殺虫剤、その他付加価値の高い製品・原材料 (融資) 家族農業の発展に資する機械、設備等	港湾料金の合理化、総合保障制度の充実、トレーサビリティPF等	食糧獲得プログラム(PAA)の再構築と拡大、国立学校給食プログラム(PANE)の価値の再調整
強靱なヘルス 経済産業	医薬品、ワクチン、医療機器等の医療技術の国内ニーズの70%を国産化	(助成) 革新的な医薬品や医療機器 (融資) 先進的治療法とワクチン開発のための新技術	規制緩和の為のルールの確立、特許分析による国産化可能性の特定、特許審査期間の短縮	2026年までに300億レアルを支出、医療経済産業複合体国家戦略の策定
都市インフラ	<ul style="list-style-type: none"> 職場への通勤時間を20%短縮(現在は週平均4.8h) 持続可能な公共交通チェーンにおける生産密度の25%向上 	(助成) 輸送における炭素排出量削減技術等 (融資) バイオ燃料、電気・ハイブリッド車及び代替システムの開発と導入	電気料金の合理化、サービス輸出再開に向けた公的支援、インセンティブ向上、インフラ債権の活用等	公共事業のCO2排出量計算ツール、公共工事におけるBIM/CIM技術等
産業のデジタル・ トランスフォーメーション	<ul style="list-style-type: none"> 国内企業の90%をデジタル変革(現在は23.5%) 新技術分野における国内生産のシェアを3倍に拡大 	(助成) 半導体、生成AI、6G高度ロボット工学 (融資) 半導体、産業用ロボット、生成AI	国内の接続性拡大、規制改善、税務紛争の防止、ICT法改正、標準化等	国家デジタル政府戦略の構築、公的機関向けAIソリューション導入等
バイオエコノミー・ 脱炭素・ エネルギー移行	<ul style="list-style-type: none"> 産業付加価値あたりのCO2排出量30%削減 輸送におけるバイオ燃料の割合を50%増加 	(助成) CO2排出削減技術、バイオ燃料開発、再生可能エネルギー (融資) バイオ製品、炭素回収、グリーンディーゼル、水素等	エネルギー転換のための国際政策マッピング、規制改革、炭素市場活性化等	“Minha casa, Minha Vida”プログラムへの太陽光発電設置
防衛	重要防衛技術の50%の自国生産確保	(助成) 国家戦略に沿った重要技術 (融資) 戦略防衛企業(EED)の技術プロジェクト	新たな公的輸出支援制度の導入、重要技術の特許出願に対する規制等	政府間調達手段、特別調達規則、PAC(528億レアル)との連携